

年末年始の緊急特別対策の再度のお願いについて

沖縄県は、12月14日から「年末年始の医療崩壊回避のための緊急特別対策」を実施中ですが、いまだに連日20名を超える新規感染者が発生し、コロナ以外の一般病床利用率も県全体で90%を維持するなど、警戒を要する状態であるとしています。そして、飲食店等に対する営業時間の短縮要請地域をこれまでの3市から名護市、宜野湾市も加え5市に拡大するなどして県民の皆様にも更なる感染拡大防止対策の徹底を呼びかけています。

特に現在の感染源の割合について飲食関連40%、家庭内感染23%、職場10%などが主なものとして家庭内に持ち込まれて広がる感染であるため、主な感染源である飲食関連の感染を抑制する必要があるとしています。

宮古島市でも12月にはいり、昨日まで48人の感染が確認され、飲食店関連や家庭内及び職場における会食からの感染者が増えてきています。

県の情報によると本日も複数名の感染者が確認されているとのこと。具体的な感染者数については県から発表があると思います。

28日以降は役所や民間の事業所等多くの職場で仕事納めを迎え、年末年始の長い休みに入ることから、会食の機会が増えると思いますが、脆弱な宮古地区の医療崩壊を防ぐためにも、再度市民の皆様にも年末年始の感染対策徹底のご協力をお願いし、今年の年末年始は特別なものとして日々奮闘される医療従事者への感謝と支援の思いを表すために静かに家庭で過ごして頂きますようお願いいたします。また、やむを得ない会食でも、できるだけ少人数で、2時間以内を目処に感染防止への協力をお願いいたします。

年末年始はできるだけ同居家族と過ごし、初詣等は混雑を避けた分散での参拝、人が大勢集まる場所ではマスクの着用、手指消毒、三密を避ける等十分な感染対策をお願いいたします。

年末年始を宮古で過ごす予定の帰省者や観光客の皆様も、来島前から体調管理を行い、大勢での会食を控える等感染対策を徹底し、体調不良時は来島の時期をご検討下さい。

また、市主催の成人式典は中止としましたが、各地で自主的な成人者の集いが計画され、各ご家庭でもお祝いの予定もあるかと思えます。久しぶりの再会となりますが、成人される皆様、親族の皆様、大人数で会食しない、会食時以外はマスクを着用し、手指消毒等、換気等感染対策を徹底して下さい。

飲食店におかれましても、利用されるお客さんに利用人数や時間の制限、マスクの着用、手指消毒等を徹底して頂き、発熱や症状のある場合は入店させない、体調の悪い従業員は仕事を休ませる、換気をこまめに行う等感染対策を徹底して頂きますようご協力を宜しくお願いします。市民の皆様も利用される飲食店の感染対策へのご協力を宜しくお願いします。

また、年末年始は医療機関の診療が限定的になる中、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れはもとより、その他の発熱患者や救急患者を受け入れる県立宮古病院の負担はさらに大きくなることが予想されます。

発熱や咳等の症状がある場合は、かかりつけの病院か市の電話相談室へまずは電話で相談してください。

市の電話相談室は、今年の年末は、特別に 31 日 5 時まで対応いたします。休業中や時間外は 24 時間電話相談を受け付ける沖縄県コロナコールセンターをご利用下さい。

市民の皆様には、年末年始は気を緩めることなく引き続き、マスクの着用、こまめな手洗い、うがい、三密を回避した行動等にご協力頂き、感染を防いで健やかな新年を迎えられますことを心から願っております。